

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

データ集

人財関連

各年度末時点の従業員数

	単位	2015	2016	2017	2018
連結従業員数*	名	5,602	5,771	5,987	6,157
単体従業員数	名	3,023	3,035	3,144	3,247

※森永乳業株式会社、森永乳業販売株式会社、東北森永乳業株式会社、株式会社フジポート、広島森永乳業株式会社、エムケーチーズ株式会社、株式会社クリニコ、株式会社東京デリー、株式会社リザンコーポレーション、森永北陸乳業株式会社、株式会社トワテクノ、株式会社森乳サンワールド、株式会社シェフォーレ、森永酪農販売株式会社、東洋酪乳株式会社、森永乳業北海道株式会社、森永乳業九州株式会社、株式会社ナポリアイスクリーム、十勝浦幌森永乳業株式会社、ミライ GmbH、MILEI Plus GmbH、MILEI Protein GmbH & Co.KG、森永ニュートリショナルフーズ Inc.、パンフィック・ニュートリショナルフーズ Inc.、日本製乳株式会社、富士森永乳業株式会社、沖縄森永乳業株式会社、熊本森永乳業株式会社、横浜森永乳業株式会社、森永エンジニアリング株式会社、北海道保証牛乳株式会社、株式会社サンフコ、エム・エム・プロパティ・ファンディング株式会社

各年度末時点の男女別従業員数（森永乳業のみ）

	単位	2015	2016	2017	2018
男性	名	2,444	2,455	2,556	2,629
女性	名	579	580	588	618
合計	名	3,023	3,035	3,144	3,247

※正規従業員のみ

正規従業員の男女別新規雇用者数（森永乳業のみ）

	単位	2015	2016	2017	2018
男性	名	47	47	98	103
女性	名	17	17	29	42
合計	名	64	64	127	145

※新卒入社者のみ

離職者数と離職率（定年退職含む／森永乳業のみ）

	単位	2015	2016	2017	2018
離職者数	名	127	107	99	85
離職率	%	3.5	3.0	2.7	2.3

障がい者雇用者数と雇用率（森永乳業のみ）

	単位	2015	2016	2017	2018
障がい者雇用者数	名	84	84	89	94
雇用率	%	2.18	2.14	2.22	2.20

女性管理職比率（森永乳業のみ）

	単位	2015	2016	2017	2018
女性管理職比率	%	4.2	4.5	4.5	4.8

シニア（60歳以上）の再雇用者数と再雇用率（森永乳業のみ）

	単位	2015	2016	2017	2018
再雇用者数	名	45	50	36	30
再雇用率	%	91.8	96.2	87.8	96.8

男女別育児休暇取得者数（森永乳業のみ）

	単位	2015	2016	2017	2018
男性	名	9	14	18	27
女性	名	32	37	49	54
合計	名	41	51	67	81

男女別育児休暇からの復帰率（森永乳業のみ）

	単位	2015	2016	2017	2018
男性	%	100.0	100.0	100.0	100.0
女性	%	97.0	94.6	100.0	100.0

総労働時間数と平均有給休暇取得日数（森永乳業のみ）

	単位	2015	2016	2017	2018
総労働時間数	時間	1,974	1,965	1,965	1,974
取得日数	日	11.6	12.0	12.2	12.0

※総労働時間数は組合員のみ

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

〉 データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

リターンジョブでの採用者数（森永乳業のみ）

	単位	2015	2016	2017	2018
採用者数	名	1	3	0	1

基本給と報酬総額の男女比（森永乳業のみ）

非公開

従業員 1 人あたりの年間研修時間と研修コスト（森永乳業のみ）

非公開

ダイバーシティ&インクルージョンの目標指標と実績（森永乳業のみ）

目標項目	単位	2017	2018	2027 目標
働き方				
在宅勤務・サテライト勤務 制度の利用者数	名	67	205	1,000
年次有給休暇取得率	%	62.8	64.9	85
性別役割分担意識の排除				
新卒採用時の女性比率*	%	40.0	44.9	50
女性管理職数	名	38	42	100
配偶者出産休暇取得率	%	68.0	76.5 (124名取得)	100
男性育児休業取得率	%	9.3	16.7 (27名取得)	100
介護支援				
介護による離職者数	名	6	0	0

※事務営業職と研究開発職の合計

環境関連

* : 第三者保証を受けた実績には「*」を付記しています

** : 「**」を付記した実績の集計対象範囲は次の通りです。森永乳業株式会社の生産事業所、北海道保証牛乳株式会社、十勝浦幌森永乳業株式会社、日本製乳株式会社、横浜森永乳業株式会社、富士森永乳業株式会社、森永北陸乳業株式会社（福井工場、富山工場）、広島森永乳業株式会社、熊本森永乳業株式会社、沖縄森永乳業株式会社、エムケーチーズ株式会社、株式会社シェフォーレ、株式会社フリジポート（熊本工場）、東北森永乳業株式会社（仙台工場、秋田工場）、東洋醸造乳株式会社

原料使用量

	単位	2015	2016	2017	2018
原料使用量	千トン	1,219	1,181	1,169	1,118

包材使用量 集計対象：容器包装リサイクル法の対象となる商品

	単位	2015	2016	2017	2018
無色ガラス	千トン	27.7	26.3	24.3	22.0
茶色ガラス	千トン	0.7	0.1	0.0	0.0
その他ガラス	千トン	0.0	0.0	0.0	0.0
PET	千トン	0.0	0.1	0.1	0.2
プラスチック	千トン	21.0	20.5	20.3	18.8
紙製容器	千トン	11.7	12.0	12.3	11.8
紙パック	千トン	20.8	20.6	17.7	18.1
スチール缶（粉乳）	千トン	1.1	1.1	0.8	0.9
アルミ缶	千トン	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	千トン	83	81	76	72

製品生産量

	単位	2015	2016	2017	2018
製品生産量	千トン	1,489	1,452	1,420	1,360

(目次)

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

> データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

エネルギー使用量**

	単位	2015	2016	2017	2018
燃料※1	TJ	4,602	4,478	4,505	4,376*
電力量(購入)※2	TJ	738	713	691	715*
合計	TJ	5,340	5,191	5,197	5,091*
原単位	GJ/トン-生産量	3.6	3.6	3.7	3.7

※1 燃料は化石燃料使用量。

バイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギーは含まない

燃料は、灯油(3TJ)、A重油(766TJ)、軽油(3TJ)、LPG(34TJ)、LNG(108TJ)、都市ガス(3,763TJ)の合計から販売した副生エネルギー(302TJ)を引いた総和。()内は2018年度実績

※2 電力量は、1,000kWh = 3.6GJとして算出。昼間電力(442TJ)と夜間電力(273TJ)の総和。()内は2018年度実績

エネルギー使用量(原油換算)**

	単位	2015	2016	2017	2018
燃料※	千kL	119	116	116	113
電力量(購入)※	千kL	51	50	48	50
合計	千kL	170	165	164	163
原単位	kL/トン-生産量	0.114	0.114	0.116	0.120

※省エネ法に基づき算出。原油換算量は、発熱量に0.0258(省エネ法施行規則より)を乗じて算出

※燃料は、灯油(0.08千kL)、A重油(19.77千kL)、軽油(0.09千kL)、LPG(0.88千kL)、LNG(2.78千kL)、都市ガス(97.10千kL)から販売した副生エネルギー(7.80千kL)を引いた総和。電力量(購入)は昼間電力量(32千kL)、夜間電力量(18千kL)の総和。()内は2018年度実績

CO₂排出量**

	単位	2015	2016	2017	2018
スコープ1※1,2	千トン-CO ₂	248	241	242	233*
スコープ2※1	千トン-CO ₂	118	111	106	107*
合計	千トン-CO ₂	366	353	348	341
原単位	トン-CO ₂ / トン-生産量	0.246	0.243	0.245	0.250

※1 スコープ1,2の区分は、GHGプロトコルに準拠

※2 販売した副生エネルギーにともなうCO₂排出量は除く

CO₂排出量(スコープ3)

	集計範囲	単位	2015	2016	2017	2018
上流の輸送・配送(カテゴリ4)※1	森永乳業	千トン-CO ₂	48.8	48.0	47.5	45.6
雇用者の通勤(カテゴリ7)※2	森永乳業	千トン-CO ₂	1.37	1.47	1.51	1.51

※1 仕入原料および商品輸送、倉庫でのエネルギー使用、倉庫フロン漏えい量におけるCO₂換算量の合計値

※2 従業員の通勤手段毎の通勤距離から、手段別の算定係数を乗じて算出
係数は環境省のグリーン・バリューチェーンプラットフォーム排出原単位値を使用

算定基準

項目	算定基準
燃料(灯油使用量、A重油使用量、軽油使用量、LPG使用量、LNG使用量、都市ガス使用量)	エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)、地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)
電力量(購入)	エネルギー資源使用量(灯油・A重油・軽油・LPG・LNG・都市ガス)に対する排出量(算定は省エネ法、温対法による)
スコープ1	エネルギー資源使用量(灯油・A重油・軽油・LPG・LNG・都市ガス)に対する排出量(算定は省エネ法、温対法による)
スコープ2	エネルギー資源使用量(購入電力)に対する排出量(算定は省エネ法、温対法による)

CO₂取り組み削減量**

	単位	2015	2016	2017	2018
削減量	千トン-CO ₂	9.2	8.8	8.6	8.1

※設備投資と生産効率改善活動によるCO₂削減効果の積み上げ値

フロン類算定漏えい量(CO₂換算)**

	単位	2015	2016	2017	2018
漏えい量	千トン-CO ₂	7.2	13.8	11.2	12.0

※フロン排出抑制法に基づき算出
GWP(地球温暖化係数)は、フロン排出抑制法で規定された数値を使用

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
 編集方針
 会社情報
 コーポレートミッション
 トップコミットメント
 サステナビリティへの取り組みのあゆみ
 森永乳業のCSR
 7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

> データ集

第三者保証
 GRIスタンダード対照表

SOx、NOx、その他の重大な大気排出物**

	単位	2015	2016	2017	2018
SOx	千トン	0.17	0.22	0.22	0.17
NOx	千トン	0.44	0.43	0.38	0.31

用水使用量**

	単位	2015	2016	2017	2018
合計	千m ³	18,385	17,637	17,098	17,337
原単位	m ³ /トン・生産量	12.3	12.1	12.0	12.8

排水量**

種類	単位	2015	2016	2017	2018
海域放流	千m ³	1,467	1,399	1,383	1,440
河川放流	千m ³	13,951	13,232	12,869	12,883
下水放流	千m ³	1,088	1,134	1,163	1,026
合計	千m ³	16,505	15,765	15,415	15,349
原単位	m ³ /トン・生産量	11.1	10.9	10.9	11.3

廃棄物発生量**

	単位	2015	2016	2017	2018
外部委託処理					
産業廃棄物* ¹	千トン	30.0	30.4	24.4	25.9
特別管理産業廃棄物	千トン	0.005	0.0004	0.015	0.027
有価物・専ら物	千トン	11.9	11.4	10.9	11.6
内部処理（場内処理）	千トン	17.6	18.9	12.4	12.1
廃棄物発生量合計	千トン	59.5	60.6	47.7	49.6
食品廃棄物	千トン	23.8	22.4	19.1	19.2
埋立廃棄物量* ²	千トン	0.6	0.4	0.4	1.3
廃棄物発生量原単位	トン/ トン・生産量	0.040	0.042	0.034	0.036
産業廃棄物原単位	トン/ トン・生産量	0.020	0.021	0.017	0.019
食品廃棄物原単位	トン/ トン・生産量	0.016	0.015	0.013	0.014

2018年度の集計方法と整合させるため、過去の実績値（2015～2017）を再集計し、修正しました。

*1 産業廃棄物排出量：事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、外部の業者で委託処理を行った廃棄物の量。有価で引き取られたものは含まない

*2 埋立廃棄物量：廃棄物のうち、埋立処理される廃棄物の量